

2020年6月15日

商船三井テクノトレード株式会社

ヤンマーマリンインターナショナルアジア株式会社

株式会社アクアネット広島

東京海上日動火災保険株式会社

水素等の利活用によるゼロ・エミッションとデジタルイゼーション化による運航支援システムを導入した先進的船舶の実践投入検討(せとうちクレイドルプロジェクト*)を開始

この度、商船三井テクノトレード株式会社とヤンマー マリンインターナショナル アジア株式会社、株式会社アクアネット広島ならびに東京海上日動火災保険株式会社の4社は、水素等を利用した気候温暖化対策(ゼロ・エミッション)の実現及び船舶の操船に関するナビゲーションシステムの導入等による高度な安全性を実現し、国内における先進的船舶の実践投入の事業化を共同で検討していくための基本合意書を締結しました。

今回の検討は、大容量のエネルギーを必要とする大型船とは異なり、比較的必要とされるエネルギー量が少ない小型観光船をモデル事業とし、これからの小型船舶ならびに内航輸送船の技術開発の進展に寄与することを目的としております。

あわせて、陸上からの水素等の供給システムのあり方等さまざまな課題に対して、今回のモデルを広島地区として設定した上で、広島大学、東京大学先端科学技術研究センター等研究機関ならびにエネルギーインフラ関連企業等との産学官連携を図って解決に取り組んでまいります。

本プロジェクトでの検討内容としては以下5点を予定し、今後、各社の事業内容に則した役割分担を行うことで検討を進めていきます。

1. 小型観光船を念頭に置いた水素等の利活用によるゼロ・エミッション船または同等の機能を持つ船舶の開発検討。但し、この船舶は、船内環境において航行中の静寂性を確保できるものを前提とする。
2. 自律運航に関する技術を活用した高度有人型航行支援システム等の導入
3. 上記2と連動した陸上における運航モニタリングの実施
4. 本プロジェクトによって開発された船舶を実践投入することを前提とした共同事業化に関するビジネスモデルの検討
5. 導入する技術に関するリスクマネジメントならびにリスクファイナンスの検討

なお、補助的エネルギー源として太陽光や風力等再生可能エネルギーを活用できる設備の採用も併せて検討していきます。

*せとうちクレイドルプロジェクト:環境対策と先進技術を編むように具現化することを、穏やかな瀬戸内海で「ゆりかご」のように静かで安らかに航跡を海面に編む様子に見立て、プロジェクトのイメージとした。

【プロジェクト参画会社】

社名	本社	代表者	事業内容
商船三井テクノ レード	東京都中央区京橋 1-1-1 八重洲ダイ ビル 6F	代表取締役社長 八田 宏和	<ul style="list-style-type: none"> ・ 船舶用燃料油・潤滑油、各種 機器・資材、省エネデバイス等 の販売、エンジニアリングサー ビス ・ 環境・安全分野の新規商材 (Sox 規制対応油、AR 航行支 援システム等)の販売・開発
ヤンマーマリンイ ンターナショナル アジア	大分県国東市武蔵 町大字糸原字行者 原 3286-3	代表取締役社長 掘井 正信	<ul style="list-style-type: none"> ・ プレジャーボート、FRP 漁船、 特殊船、海洋機器の開発・製 造及びアジア地域への販売・ サービス ・ 農水産物、生物飼料の生産・ 販売
アクアネット広島	広島県広島市中区 紙屋町 2-2-12	代表取締役社長 辻村 麻衣子	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光船、交通船及び警戒船の 運航事業
東京海上日動火 災保険	東京都千代田区丸 の内 1-2-1	代表取締役社長 広瀬 伸一	<ul style="list-style-type: none"> ・ 損害保険業、業務の代理・事 務の代行 ・ 確定拠出年金の運営管理業 務 ・ 自動車損害賠償保障事業委 託業務

以上